

平成20年2月13日

各 位

会社名 ハイブリッド・サービス株式会社
 代表者名 代表取締役社長 永瀬 則幸
 (J A S D A Q ・ コード 2 7 4 3)
 問合せ先 取締役業務部長 新倉 敏美
 電話番号 0 3 - 3 2 6 2 - 6 8 2 7

特別損失の発生及び平成19年12月期通期（連結・個別）業績予想の修正 に関するお知らせ

当社において、下記のとおり特別損失が発生いたしますので、その概要をお知らせするとともに、平成19年12月期(平成19年1月1日～平成19年12月31日)の業績予想について、平成19年11月1日付当社「平成19年12月期業績予想の修正に関するお知らせ」にて発表いたしました業績予想を下記のとおり修正いたしますのでお知らせいたします。

記

1．特別損失の発生及びその内容

(1) 連結

当社の連結子会社である東京中央サトー製品販売株式会社の業績等を鑑み、投資回収期間が長期にわたる見通しから、同社に対するのれんを回収可能価額まで減損処理し、特別損失として減損損失1億14百万円を計上いたします。

(2) 個別

当社の連結子会社である東京中央サトー製品販売株式会社及び海伯力国際貿易(上海)有限公司について、当該会社の財政状態及び回収可能性等を勘案して、投資損失引当金2億14百万円を計上いたします。

2．平成19年12月期通期（連結・個別）業績予想の修正（平成19年1月1日～平成19年12月31日）

(1) 連結

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回予想(A)	24,097	167	120	58	1,064 85
今回修正(B)	23,978	110	48	96	1,777 77
増減額(B - A)	119	57	72	154	2,842 62
増減率	0.5%	34.1%	60.0%	-	-
前期実績(参考)	24,901	487	476	347	6,369 68

(2) 個別

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回予想 (A)	百万円 23,233	百万円 171	百万円 172	百万円 142	円 銭 2,607 04
今回修正 (B)	23,094	130	125	100	1,841 10
増減額 (B - A)	139	41	47	242	4,448 14
増減率	0.6%	24.0%	27.3%	-	-
前期実績 (参考)	24,354	519	519	317	5,823 41

3. 通期 (連結・個別) 業績予想の修正理由について

(1) 連結

当社グループの主力事業が属するオフィス用品業界のマーケティングサプライ品 (プリンタ印字廻りの消耗品) 市場におきまして、卸販売は業界内の過当競争により、民事再生、統廃合の動きも一部に見受けられるなど、当社グループを取り巻く経営環境は悪化しております。

売上高につきましては、その過当競争等の要因により、年末の繁忙期において例年並みの需要を取り込むことができず、前回予想を1億19百万円下回る239億78百万円 (前回予想比0.5%減) となる見込みであります。

営業利益につきましては、上記売上高減少に加え、売上総利益率が想定以上に低下した結果、前回予想を57百万円下回る1億10百万円 (前回予想比34.1%減) となる見込みであります。

経常利益につきましては、新たに設立した中国物流会社の増資手続きが遅れたことにより同社の初期費用負担に対する当社負担割合が膨らみ、結果として、営業外費用として持分法による投資損失42百万円を計上することとなり、前回予想を72百万円下回る48百万円 (前回予想比60.0%減) となる見込みであります。

当期純損益につきましては、「1. 特別損失の発生及びその内容」に記載のとおり、特別損失として、のれんの減損損失1億14百万円を計上することにより、前回予想を1億54百万円下回る当期純損失96百万円 (前回予想は当期純利益58百万円) となる見込みであります。

(2) 個別

売上高につきましては、年末の繁忙期において例年並みの需要を取り込むことができず、前回予想を1億39百万円下回る232億33百万円 (前回予想比0.6%減) となる見込みであります。

営業利益及び経常利益につきましては、上記売上高減少に加え、売上総利益率が想定以上に低下した結果、営業利益は前回予想を41百万円下回る1億30百万円 (前回予想比24.0%減)、経常利益は前回予想を47百万円下回る1億25百万円 (前回予想比27.3%減) となる見込みであります。

当期純損益につきましては、「1. 特別損失の発生及びその内容」に記載のとおり、特別損失として、投資損失引当金繰入額2億14百万円を計上することにより、前回予想を2億42百万円下回る当期純損失1億円 (前回予想は当期純利益1億42百万円) となる見込みであります。

(注) 上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、実際の決算数値は、上記予想と異なる場合がございます。

以上